



Sun Update Connection 1.0 管理ガイド

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No.835-0632-01
2005 年 7 月

このマニュアルに関するご意見は、次のサイトからお送りください。 <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2005 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents>に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴマーク、AnswerBook、AnswerBook のロゴマーク、AnswerBook2、docs.sun.com、Java、Solaris、My Sun および SunSolve は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。

すべての SPARC の商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスの基に使用される、米国およびその他の国における同社の商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは、OPEN LOOK GUI を実装し、そうでなければ書面によるライセンス契約に従う米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

米国政府による使用、複製または開示は、適用される場合は、米国 Sun Microsystems 社のライセンス契約および、DFARS 227.7202-1(a) と 227.7202-3(a) (1995)、DFARS 252.227-7013(c)(1)(ii) (Oct. 1998)、FAR 12.212(a) (1995)、FAR 52.227-19、または FAR 52.227-14 (ALT III) の条項の制限に従います。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。



Adobe PostScript

目次

はじめに vii

1. Sun Update Connection 1

Sun Update Connection の概要 1

Sun Update Connection サービス 2

概要ページ 2

システムページ 3

アップデートページ 3

ジョブページ 4

すべてのページで共通な機能 4

Sun Update Connection サービスを使用するためにシステムを登録する -
プロセスの概要 6

サンオンラインアカウントの管理 7

▼ サンオンラインアカウントの情報を変更する方法 7

2. 登録 9

概要 9

サンオンラインアカウント 10

▼ サンオンラインアカウントを使用してログインする方法 10

▼ サンオンラインアカウントを作成する方法 10

サブスクリプション 12

システムの登録 13

リモート管理対象として登録する 13

3. Sun Update Connection サービスを使用してアップデートを管理する 15

Sun Update Connection サービスを使用したアップデートの管理 15

Sun Update Connection サービスへのアクセス 16

▼ Sun Update Connection Web サイトにログインする方法 16

▼ 忘れたユーザー名を入手する方法 16

▼ 忘れたパスワードを入手する方法 17

▼ パスワードを変更する方法 18

Sun Update Connection サービスを使用してアップデート管理環境を設定する 19

▼ システム設定を編集する方法 19

▼ システムのチェックイン間隔を設定する方法 19

▼ システム名を変更する方法 20

▼ システムを削除する方法 21

Sun Update Connection サービスを使用してシステムを管理する 22

▼ システムを表示する方法 22

▼ システムの詳細を表示する方法 23

▼ 1つまたは複数のシステムの有効なアップデートを表示する方法 23

Sun Update Connection サービスを使用してアップデートを管理する 23

▼ アップデートをインストールする方法 23

▼ アップデートをアンインストールする方法 25

▼ アップデートの詳細を表示する方法 25

ジョブの管理 25

▼ ジョブを表示する方法 26

▼ ジョブの詳細を表示する方法 26

▼ システムページからジョブを作成する方法 27

▼ アップデートページからジョブを作成する方法 28

- ▼ 実行中のジョブを追跡する方法 29
- ▼ 完了したジョブをアーカイブする方法 29
- ▼ ジョブのステータスを表示する方法 30
- ▼ 保留中のジョブをキャンセルする方法 30

4. Sun Update Connection のナビゲーション 31

概要ページ 32

システムの表 32

アップデートの表 33

ジョブの表 34

システムページ 35

システム 36

システム - 有効なアップデート 37

- ▼ 選択したアップデートとともに依存するアップデートをインストールする方法 38

システム - すべてのジョブ 38

システム - インストール済みアップデート 40

データ列 40

アップデートページ 44

アップデート 45

アップデート - 関連システム 46

依存パッチと確認 46

アップデートのインストールが予定されたジョブの確認 47

データ列 47

ジョブページ 50

データ列 52

はじめに

この管理ガイドでは、Sun™ Update Connection (以降「Update Connection」とします) フトウェアの目的と機能について説明します。Update Connection サービスを使用すると、1 つまたは複数の登録済み Solaris 10 システムのアップデートをリモート管理することができます。

内容の紹介

このガイドには次の章が含まれています。

- 第 1 章では、Update Connection について説明します。
- 第 2 章では、Sun Update Manager グラフィカルユーザーインターフェース (GUI) および Update Connection を使用するためにシステムを登録する方法について説明します。
- 第 3 章では、Update Connection を使用してアップデート関連ジョブを実行する方法について説明します。
- 第 4 章では、GUI とインターフェースのナビゲート方法について説明します。

関連マニュアル

- Sun Update Manager 1.0 管理ガイド

Sun Update Manager アプリケーションを使用して Solaris 10 システムのアップデートを管理する方法については、このマニュアルを参照してください。

- Solaris のシステム管理 (基本編)

smpatch コマンドを使用して、コマンド行から Solaris 10 システムのアップデートを管理する方法については、このマニュアルを参照してください。

Sun オンラインマニュアルへのアクセス方法

docs.sun.comSM Web サイトでは、Sun オンライン技術マニュアルにアクセスすることができます。docs.sun.com のアーカイブを参照したり、特定のマニュアル名またはテーマを検索することができます。URL は <http://docs.sun.com> です。

Sun マニュアルの注文方法

Sun Microsystems は、精選した製品マニュアルを書籍として販売しています。マニュアルのリストと注文方法については、<http://docs.sun.com> の「印刷された文書の購入」を参照してください。

表記上の規則

次の表は、このマニュアルで使用されている表記上の規則を示しています。

字体	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、および画面上のコンピュータ出力を示します。	<code>.login</code> ファイルを編集します。 <code>ls -a</code> を使用してすべてのファイルを表示します。 <code>% You have mail.</code>
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力とは区別して示します。	<code>% su</code> Password:
AaBbCc123	書名、新しい用語、強調する語句、および変数を示します。変数の場合には、実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	『ユーザーズガイド』の第 6 章を参照してください。 これらはクラスオプションと呼ばれます。 ファイルを削除するには、 <code>rm <ファイル名></code> と入力します。

コマンド例のシェルプロンプト

次の表は、C シェル、Bourne シェル、および Korn シェルのデフォルトシステムプロンプトとスーパーユーザープロンプトを示しています。

シェル	プロンプト
C シェルプロンプト	<code>machine_name%</code>
C シェルのスーパーユーザープロンプト	<code>machine_name#</code>
Bourne シェルおよび Korn シェルのプロンプト	<code>\$</code>
Bourne シェルおよび Korn シェルのスーパーユーザープロンプト	<code>#</code>

Sun 技術サポートへの問い合わせ方法

この製品に関する技術的な疑問点がこのマニュアルで解決できなかった場合には、次のサイトにアクセスしてください。

<http://www.sun.com/service/contacting/>

Sun Update Connection

この章では、Sun Update Connection 1.0 サービスの概要について説明します。この章では次のトピックについて説明します。

- 1 ページの「Sun Update Connection の概要」
- 2 ページの「Sun Update Connection サービス」
- 6 ページの「Sun Update Connection サービスを使用するためにシステムを登録する - プロセスの概要」
- 7 ページの「サンオンラインアカウントの管理」

Sun Update Connection の概要

Sun Update Connection サービスを使用すると、Sun Update Manager アプリケーションを使用して登録したすべての Solaris 10 システムのアップデートをリモート管理することができます。Web ブラウザを使用して Sun Update Connection サービスにアクセスし、最新の Solaris アップデートとその管理ツールすべてにアクセスすることができます。

Update Connection サービスは、システム登録時に入力されたシステム情報を使用して、各 Solaris 10 システムに最適なアップデートを決定します。

各登録済みシステムは指定された間隔で、Sun Update Connection Web サイトまたは Sun Update Connection プロキシにチェックインします。システムがチェックインすると、そのシステムの待機中のジョブが実行されます。ジョブとは、1 つまたは複数の管理対象システムで実行されるアップデート管理アクティビティのことです。

Sun Update Connection サービスを使用してシステムを管理するには、Sun Update Manager 登録ウィザードを使用してシステムを登録する必要があります。登録作業には、リモートアップデート管理を行うシステムの登録も含まれます。『Sun Update Manager 1.0 管理ガイド』を参照してください。

Sun Update Manager アプリケーションを使用すると、各登録済み Solaris 10 システムのアップデートをローカルで一度に管理することができます。単一のインターフェースを使用して、すべての登録済みシステムのアップデートを管理する場合は、Sun Update Connection サービスを使用します。

Update Connection サービスでは次の処理を実行できます。

- 複数のシステムにインストールされたアップデートの分析結果の表示
26 ページの「ジョブの詳細を表示する方法」を参照してください。
- アップデート管理ジョブの管理
50 ページの「ジョブページ」、27 ページの「システムページからジョブを作成する方法」、30 ページの「ジョブのステータスを表示する方法」、および第 3 章のその他の手順を参照してください。
- 各管理対象システムのチェックイン間隔の設定
19 ページの「システムのチェックイン間隔を設定する方法」を参照してください。

Sun Update Connection サービス

アップデート管理機能にアクセスするには、サンオンラインアカウントのユーザー名とパスワードを使用して Sun Update Connection サービスにログインする必要があります。しかし、ログインしなくても、一部のアクティビティは実行できます。

ログインすると、ページ最上部のタグをクリックして次のページにアクセスすることができます。

- 概要
- システム
- アップデート
- ジョブ

概要ページ

このページは、Sun Update Connection Web サイトにログインすると毎回表示されます。ここには、システム、アップデートおよびジョブに関する概要の情報が表示されます。

このページから、次の各セクションでシステム、アップデート、およびジョブに関する情報を表示することができます。

- システム - このセクションには、次の情報が表示されます。
 - 過去 24 時間以内に Sun へチェックインしていないシステムの数

- 管理対象システムの総数

システムページへアクセスするには、「すべてを参照」をクリックします。

- **アップデート** - このセクションには、システムに対して有効な、次の種類のアップデートが表示されます。

- セキュリティアップデート
- Sun Alert/Recommended アップデート
- 機能のアップデート
- 重要ではないアップデート

このセクションでも、すべての管理対象システムで有効なアップデートの総数が表示されます。

このセクションからアップデートページに移動できます。

- **ジョブ** - このセクションにはジョブステータスが表示されます。表示される情報には、成功したジョブの総数、失敗したジョブの総数、システムチェックインの実行を待機中のジョブの総数、処理中のジョブの総数があります。

このセクションからジョブページに移動できます。

システムページ

このページから次の処理を実行できます。

- 全登録済みシステムのリストの表示
22 ページの「システムを表示する方法」を参照してください。
- 登録済みシステムの詳細の表示
23 ページの「システムの詳細を表示する方法」を参照してください。
- 特定のシステムにドリルダウンして、有効なアップデートのリストを表示する
23 ページの「1 つまたは複数のシステムの有効なアップデートを表示する方法」を参照してください。
- 1 つまたは複数のシステムにインストールするアップデートの選択
23 ページの「アップデートをインストールする方法」を参照してください。

アップデートページ

このページから、システムにインストールできるアップデートの情報を表示できます。次の処理も実行できます。

- アップデートの詳細の表示
25 ページの「アップデートの詳細を表示する方法」を参照してください。

- 1 つまたは複数のシステムにアップデートをインストールするジョブの作成
28 ページの「アップデートページからジョブを作成する方法」を参照してください。
- アップデートのインストール進捗状況の追跡
26 ページの「ジョブの詳細を表示する方法」を参照してください。

ジョブページ

このページから、アーカイブしていないすべてのジョブを表示できます。次のようなジョブの詳細を表示するには、特定のジョブにドリルダウンします。

- ジョブに含まれるアップデート
26 ページの「ジョブの詳細を表示する方法」を参照してください。
- アップデートのインストールが必要なシステム
26 ページの「ジョブの詳細を表示する方法」を参照してください。
- ジョブのステータス
30 ページの「ジョブのステータスを表示する方法」を参照してください。

このページからは、次のジョブ管理アクティビティも実行できます。

- 1 つまたは複数のシステムで実行するジョブの作成
27 ページの「システムページからジョブを作成する方法」を参照してください。
- ジョブステータスの表示
30 ページの「ジョブのステータスを表示する方法」を参照してください。
- 保留中のジョブのキャンセル
30 ページの「保留中のジョブをキャンセルする方法」を参照してください。
- 完了したジョブのアーカイブ
29 ページの「完了したジョブをアーカイブする方法」を参照してください。

すべてのページで共通な機能

ここで説明する機能は、すべての Sun Update Connection 機能ウィンドウで使用できます。

このセッションで作成されたジョブ

各機能ウィンドウの「ジョブの概要」サイドバーには、このセッションで作成されたジョブが最大 25 個表示されます。

- このリストは、最大 25 項目の循環ファイルです。26 番目のジョブが作成されると、最初のジョブはリスト表示から削除されます。
- それぞれのジョブステータスのリストはリンクになっており、リンクをクリックすると「ジョブ詳細」ウィンドウが開きます。
- 「すべてを表示」をクリックすると、ジョブページが開いて、現在の (アーカイブされていない) ジョブがすべて表示されます。

アカウント

「アカウント」ボタンは機能ページの最上部に表示されます。

「アカウント」をクリックすると、次の操作を実行できます。

- システム登録情報のアップデート
7 ページの「サンオンラインアカウントの情報を変更する方法」を参照してください。
- パスワードの変更
18 ページの「パスワードを変更する方法」を参照してください。

ログアウト

「ログアウト」をクリックして、**Sun Update Connection** セッションを終了します。

20 分間何も操作を行わないと、自動的にセッションからログアウトされます。

- 15 分間何も操作を行わないと、あと 5 分でログアウトすることを警告するポップアップウィンドウが開きます。
- セッションの延長は、5 分以内に選択することができます。セッションを延長するとタイマーがゼロにリセットされ、さらに 15 分間何も操作を行わないと再度警告が表示されます。
- 20 分間何も操作を行わないと、ユーザーはログアウトされ、そのステータスを説明するポップアップウィンドウが表示されます。
- ログインページが表示されます。

ヘルプ

Update Connection の機能の詳細を表示するには、「ヘルプ」をクリックします。

Sun Update Connection サービスを使用するためにシステムを登録する - プロセスの概要

Sun Update Manager または Sun Update Connection サービスを使用してシステムのアップデートを管理するには、まず Sun Update Manager 登録ウィザードを使用してシステムを登録する必要があります。

1. 管理する Solaris 10 システムごとに Sun Update Manager をインストールします。

『Sun Update Manager 1.0 管理ガイド』を参照してください。

Solaris 10 10/05 システムの場合 - GNOME デスクトップに表示されている起動アイコンを使用して、Sun Update Manager アプリケーションをインストールできます。『Solaris のシステム管理 (基本編)』を参照してください。

2. ソフトウェアをインストールしたら、Sun Update Manager 登録ウィザードを使用して、アップデートを管理する各 Solaris 10 システムを登録します。
3. 登録したら、システムがリモート管理できる状態になったことを Sun Update Connection サービスに通知します。

- Update Manager アプリケーションにログインします。ログインにはシステムの root パスワードを使用します。

登録したシステムの情報は、Update Connection サービスが使用するためにサンオンラインアカウントにリンクされます。

- システム登録時にサブスクリプションキーを入力します。
- 「Sun Update Connection で管理」をクリックして、Sun Update Connection サービスを使用します。

詳細は、『Sun Update Manager 1.0 管理ガイド』を参照してください。

4. ブラウザを使用して Sun Update Connection Web サイトに接続します。
<http://updates.sun.com> にアクセスします。
5. 自分のサンオンラインアカウントのユーザー名とパスワードを使用してログインします。

登録したシステムで使用可能な Solaris アップデートに関する情報が、Sun Update Connection ウィンドウに表示されます。

サンオンラインアカウントの管理

Sun Update Connection Web サイトからサンオンラインアカウントを管理することができます。登録情報を変更したりパスワードを変更することができます。

▼ サンオンラインアカウントの情報を変更する方法

1. 「アカウント」をクリックします。
「アカウント」ボタンは、画面の最上部にあります。
2. 「登録情報の更新」をクリックします。
サンオンラインアカウント登録フォームに現在値が表示されます。
3. 該当するフィールドの値を変更します。
4. パスワードを入力します。
5. 「次へ」をクリックします。
アカウント情報が変更され、成功したことを確認するメッセージが表示されます。

登録

この章では、**Sun Update Manager** アプリケーションをインストールしたシステムの登録プロセスについて説明します。この章には次のセクションが含まれています。

- 9 ページの「概要」
- 10 ページの「サンオンラインアカウント」
- 12 ページの「サブスクリプション」
- 13 ページの「システムの登録」
- 13 ページの「リモート管理対象として登録する」

概要

登録はいくつかの手順で行います。登録は、**Sun Update Manager** アプリケーションの中で行われます。

- **サンオンラインアカウント - Update Connection** を使用するには、サンオンラインアカウントを持っている必要があります。**SunSolveSM Web** サイトにログインしている場合は、このアカウントをすでに取得している可能性があります。
- **サブスクリプション** - すべての **Solaris** オペレーティングシステムのアップデートにアクセスしたり、アップデートを自動的にインストールしたり、**Update Connection** サービスを使用するには、サブスクリプションを持っている必要があります。
- **システムの登録 - Sun Update Manager** または **Sun Update Connection** サービスを使用するには、**Update Manager** 登録ウィザードを使用して **Solaris 10** システムを登録する必要があります。ウィザードは **Solaris** システムの情報を収集して、**Sun** に送信します。

- **Sun Update Connection** で管理 - Sun Update Connection サービスを使用して、すべての Solaris 10 システムのアップデートをリモート管理することができます。

登録の詳細については、『Sun Update Manager 1.0 管理ガイド』を参照してください。

サンオンラインアカウント

以前に SunSolve、SunSM Online Support Center (OSC)、My SunSM、またはその他の Sun オンラインサービスにアクセスしたことがある場合は、サンオンラインアカウントを取得している可能性があります。

▼ サンオンラインアカウントを使用してログインする方法

すでにサンオンラインアカウントを持っている場合は、次の手順に従います。

1. ユーザー名とパスワードを入力します。
2. 「ログイン」をクリックします。

アプリケーションは Sun への接続を試みます。

- ブラウザが接続に失敗した場合は、「インターネット接続エラー」というポップアップメッセージが沸されます。場合によっては、ネットワークプロキシを設定して、再試行する必要があります。
- ユーザー名またはパスワードを忘れた場合は、「ユーザー名またはパスワードを忘れた場合」をクリックして、ユーザー名とパスワードの通知を要求します。ユーザー名とパスワードを入手した後に、登録をやり直すことができます。

16 ページの「忘れたユーザー名を入手する方法」を参照してください。

17 ページの「忘れたパスワードを入手する方法」を参照してください。

▼ サンオンラインアカウントを作成する方法

以前にサンオンラインアカウントを作成していない場合は、ログイン画面でアカウントを作成できます。

注 - 各クライアントシステムを登録するには、サンオンラインアカウントが必要です。ここでサンオンラインアカウントを作成する場合には、これまで Sun Update Manager アプリケーションでリモートアップデート管理対象に Sun システムを登録していないことになります。Sun Update Connection サービスを使用してシステムを表示および管理するには、各クライアントシステムにログインし、「Sun Update Connection で管理」の対象として各システムを登録する必要があります。

1. 「登録済みのお客様のログイン」パネルにある「初めてのお客様：アカウントの作成」のリンクをクリックします。

「登録」ウィンドウが表示されます。

注 - サンオンラインアカウントを作成するには、ログインしているシステムがインターネットに接続している必要があります。フィールドに入力した情報はローカルに保存され、Sun に送信されます。すべてのフィールドには欧文文字で情報を入力する必要があります。

2. すべてのフィールドを入力します。

一部のフィールドの入力は必須です。これらのフィールドを空欄にすると、アカウントは作成されません。これらのフィールドと各フィールドの書式規則の詳細は、『Sun Update Manager 1.0 Operations Guide (Sun Update Manager 1.0 操作ガイド)』の登録の章を参照してください。

3. 「次へ」をクリックして Sun に接続し、入力したデータの検証を行います。

必須フィールドが空欄だったり、無効なエントリが検出された場合には、画面が再表示され、エラーを修正するか、空欄のフィールドに入力するように要求されます。

データが検証され、次の項目が確認されます。

- ユーザー名が Sun でまだ使用されていない。
- 必須フィールドがすべて入力されている。
- 入力したすべてのデータがフィールド検証ロジックを満たしている。

4. 「次へ」をクリックします。

「利用規約」ウィンドウが表示されます。

5. Sun 利用規約を確認します。

- 利用規約に同意する場合は、「同意する」をクリックして「提出」をクリックします。

登録が完了し、ホームページが表示されます。

- 利用規約について疑問点や質問がある場合は、「キャンセル」をクリックしてアカウントの変更内容を破棄します。

疑問点や質問がありましたら、Sun の担当者にお問い合わせください。

概要ページが表示されますが、システムが登録されていないので、システム情報は表示されません。

6. Sun Update Manager アプリケーションを起動して、システムを登録します。

サブスクリプション

アクセス可能なタイプのアップデートは、入力する Sun サブスクリプションキーによって決定されます。

- サブスクリプションキーを入力した場合には、使用している Sun システムに関連するすべてのアップデートが表示されます。
- サブスクリプションキーを入力しない場合には、使用しているシステムに適合したセキュリティアップデートのみが表示されます。その他の Solaris 10 アップデートは使用できません。

注 – ソフトウェアサポートを含む、Sun サポート契約の契約番号が、サブスクリプションキーになっている場合があります。

- Sun の担当者に連絡するか、次の Web サイトにアクセスしてオンラインでサブスクリプションキーを購入できます。
 - Solaris 10 Service Plans:
<http://www.sun.com/service/solaris10/index.html>
 - 一般的な Solaris サポートプラン:
<http://www.sun.com/service/support/software/solaris/index.html>

注 – サブスクリプションキーは、登録プロセス中に入力することができます。また、Update Manager セッション中にサブスクリプションキーを追加することもできます。Sun Update Connection Web サイトでは、サブスクリプションキーを追加できません。

システムの登録

Update Manager アプリケーションをインストールして、システム登録プロセスを完了した各システムは、サンオンラインアカウントにリンクされます。Update Manager での登録中に、システムの仕様とアップデート分析結果が収集され、Sun に送信されます。これにより、Sun は、有効なアップデートの正確かつ適切なリストをユーザーに送信できます。



警告 – リモート管理のためにシステムアップデート情報を表示して使用可能にするには、まず Update Manager アプリケーションでシステムの登録を行う必要があります。詳細は、『Sun Update Manager 1.0 管理ガイド』を参照してください。

リモート管理対象として登録する

システム登録プロセスで、システムのアップデートを管理する方法を次のうちから指定します。

- ローカルでアップデートを管理する
- Sun Update Connection サービスを使用してリモートでアップデートを管理する

システムの登録が完了したら、「Sun Update Connection で管理」をクリックして、リモートアップデート管理対象となるシステムにフラグを立てるように Sun に指示します。リモート管理対象としてフラグを立てた各システムのシステムおよびアップデート情報は、Sun Update Connection サービスでの管理に表示して利用することができます。

注 – Update Connection でアップデートを表示してリモート管理するには、リモートアップデート管理対象としてシステムにフラグを立てる必要があります。フラグは、Update Manager アプリケーションで設定する必要があります。詳細は、『Sun Update Manager 1.0 管理ガイド』を参照してください。

Sun Update Connection サービスを使用してアップデートを管理する

この章では、Sun Update Connection サービスを使用してアップデート管理ジョブを実行する方法について説明します。この章には次のセクションが含まれています。

- 15 ページの「Sun Update Connection サービスを使用したアップデートの管理」
- 16 ページの「Sun Update Connection サービスへのアクセス」
- 19 ページの「Sun Update Connection サービスを使用してアップデート管理環境を設定する」
- 22 ページの「Sun Update Connection サービスを使用してシステムを管理する」
- 23 ページの「Sun Update Connection サービスを使用してアップデートを管理する」
- 25 ページの「ジョブの管理」

Sun Update Connection サービスを使用したアップデートの管理

Sun Update Connection サービスを使用するには、まず Sun Update Manager 登録ウィザードを使用して Solaris 10 システムを登録する必要があります。登録では、Update Manager サブスクリプションキーを入力し、Sun Update Connection Web サイトを使用してシステムをリモート管理することを指定する必要があります。

注 – Update Connection サービスを使用する場合でも、Update Manager アプリケーションを使用して、ローカルでアップデート管理のジョブを実行できます。

Sun Update Manager の詳細は、『Sun Update Manager 1.0 管理ガイド』を参照してください。

Sun Update Connection サービスへのアクセス

▼ Sun Update Connection Web サイトにログインする方法

1. ブラウザを開きます。
対応しているブラウザは次のとおりです。
 - Mozilla 1.3 以降
 - Internet Explorer 5.0 以降
 - Firefox 1.0 以降
2. <http://updates.sun.com> にアクセスします。
接続できない場合は、ネットワークプロキシおよびポート設定についてネットワーク管理者に問い合わせてください。
3. サンオンラインアカウントのユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。
 - ユーザー名を忘れた場合は、「16 ページの「忘れたユーザー名を入手する方法」を参照してください。
 - パスワードを忘れた場合は、「17 ページの「忘れたパスワードを入手する方法」を参照してください。

▼ 忘れたユーザー名を入手する方法

Sun では、各サンオンラインアカウントの電子メールアドレスおよび関連するユーザー名を保存しています。1 つの電子メールアドレスには、1 つまたは複数のユーザー名が関連しています。Sun は、リンクしているユーザー名をその電子メールアドレスに送信します。

ユーザー名は覚えているがパスワードを忘れた場合は、「17 ページの「忘れたパスワードを入手する方法」を参照してください。

1. Update Connection のログイン画面で、「ユーザー名またはパスワードを忘れた」をクリックします。
「既存の Sun Update Connection ユーザーの場合」ウィンドウが表示されます。

2. 「ユーザー名またはパスワードを忘れた場合」のリンクをクリックします。
「ユーザー名またはパスワードを忘れた場合」ウィンドウが表示されます。
3. 電子メールアドレスを入力します。
このアドレスは、サンオンラインアカウントで **Sun** に登録した電子メールアドレスです。
4. 「提出」をクリックします。
Sun では、電子メールアドレスが有効なサンオンラインアカウントに関連付けられていることを確認します。
 - 電子メールアドレスの検証が完了すると、**Sun** はその電子メールアドレスに関連するユーザー名をユーザーに送信します。
 - 電子メールが見つからない、または無効である場合は、次のいずれかのエラーメッセージが届きます。
 - 電子メールがサンオンラインアカウントと一致しません
 - 電子メールとユーザー名がサンオンラインアカウントと一致しません
 - 電子メールとユーザー名が同じサンオンラインアカウントと一致しません確認画面を見ると、送信された電子メールが表示されます。
5. Update Connection ログイン画面に戻ります。
6. サンオンラインアカウントのユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。

▼ 忘れたパスワードを入手する方法

1. Update Connection のログイン画面で、「ユーザー名またはパスワードを忘れた」をクリックします。
「既存の Sun Update Connection ユーザーの場合」ウィンドウが表示されます。
2. 「ユーザー名またはパスワードを忘れた場合」のリンクをクリックします。
「ユーザー名またはパスワードを忘れた場合」ウィンドウが表示されます。
3. 電子メールアドレスを入力します。
このアドレスは、サンオンラインアカウントで **Sun** に登録した電子メールアドレスです。
4. ユーザー名を入力します。
5. 「提出」をクリックします。
Sun では、電子メールアドレスが有効なサンオンラインアカウントに関連付けられていることを確認します。

- 電子メールアドレスの検証が完了すると、パスワードはシステムで生成されたパスワードにリセットされ、生成されたパスワードがユーザーに電子メール送信されます。
 - 電子メールが見つからない、または無効である場合は、次のいずれかのエラーメッセージが届きます。
 - 電子メールがサンオンラインアカウントと一致しません
 - 電子メールとユーザー名がサンオンラインアカウントと一致しません
- 正しい電子メールアドレスを入力して、「提出」をクリックします。
- 確認画面を見ると、送信された電子メールが表示されます。

6. Update Connection ログイン画面に戻ります。

7. サンオンラインアカウントのユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。

▼ パスワードを変更する方法

1. 「アカウント」をクリックします。

2. 「パスワードの変更」をクリックします。

サンオンラインアカウントのユーザー名が表示されます。

3. 現在のパスワードを入力します。

4. 新しいパスワードを入力します。

新しいパスワードは大文字と小文字を区別し、6～8文字で入力する必要があります。

5. 新しいパスワードを再入力します。

6. 「提出」をクリックします。

- パスワードの変更が成功したら、「次へ」をクリックします。
- パスワードの変更に失敗したら、パスワードを再入力して、「提出」をクリックします。

Sun Update Connection サービスを使用してアップデート管理環境を設定する

▼ システム設定を編集する方法

1. システムページで、システム名列の履歴アイコンをクリックします。
履歴アイコンをクリックすると、システムの履歴データにアクセスできます。
選択したシステムのインストール済みアップデートのページが表示されます。
2. 「システム設定の編集」をクリックします。
このボタンは、ページ名の下、インストール済みアップデートのリストの上にあります。
3. 次のうちから編集する設定を選択します。
 - システムの一般名を変更する
「19 ページの「システムのチェックイン間隔を設定する方法」」を参照してください。
 - システムのチェックイン間隔を変更する
「20 ページの「システム名を変更する方法」」を参照してください。
 - システムを削除する
「21 ページの「システムを削除する方法」」を参照してください。

▼ システムのチェックイン間隔を設定する方法

1. システムページで、システム名列の履歴アイコンをクリックします。
履歴アイコンをクリックすると、システムの履歴データにアクセスできます。
選択したシステムのインストール済みアップデートのページが表示されます。
2. 「システム設定の編集」をクリックします。
このボタンは、ページ名の下、インストール済みアップデートのリストの上にあります。
3. Sun Update Connection にチェックインするようにシステムを設定します。

4. メニューからチェックイン間隔を選択します。

デフォルトのチェックイン間隔は 2 時間です。ドロップダウンリストから選択して、間隔を変更します。

もともと予定されていた間隔の次の時刻に、システムがチェックインします。そのチェックインの後に、新しく設定した間隔がアクティブになります。

5. 「変更を保存」をクリックします。

変更を保存すると、「システム設定の編集」ウィンドウに戻ります。

注 – 変更を保存しないでこの画面を終了するには、このステップをスキップし、ナビゲーションボタンをクリックします。

6. システム設定のページを終了します。

このページを終了するには、次のいずれかのボタンをクリックします。

- 有効なアップデートを表示
- インストール済みアップデートを表示
- すべてのジョブを表示

▼ システム名を変更する方法

選択したシステムの名前を変更できます。入力されている名前は、システムの登録中に Sun へ送信された名前です。

1. システムページで、システム名と同じ行にある履歴アイコンをクリックします。

システムページのシステム名列にはアイコンが入っています。このアイコンは、システムの履歴データへのリンクです。

選択したシステムのインストール済みアップデートのページが表示されます。

2. 「システム設定の編集」をクリックします。

このボタンは、ページ名の下、インストール済みアップデートのリストの上にあります。

3. システム名を入力します。

デフォルトの名前は、システムを登録したときに使用した名前です。管理するシステムには、それぞれ固有の名前が付いている必要があります。

注 – すでに自分に割り当てられている使用中のシステム名を入力すると、システム名の再入力を要求するエラーメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。

4. 「変更を保存」をクリックします。

変更を保存すると、「システム設定の編集」ウィンドウに戻ります。

注 - 変更を保存しないでこの画面を終了するには、このステップをスキップし、ナビゲーションボタンをクリックします。

5. システム設定のページを終了します。

このページを終了するには、次のいずれかのリンクをクリックします。

- 有効なアップデートを表示
- インストール済みアップデートを表示
- すべてのジョブを表示

▼ システムを削除する方法

アップデートのリモート管理対象からシステムを削除するには、「システムを削除」をクリックします。ポップアップウィンドウに確認メッセージが表示されます。

「OK」をクリックすると、すべてのジョブ情報を含むシステム情報が **Update Connection** の記録から消去されます。削除されたシステムのジョブキューが削除されるため、保留中のジョブは開始されません。また、自動システム分析プロセスとチェックインプロセスが停止します。

削除したシステムの管理は、**Update Manager** アプリケーションで行うことができます。**Update Manager** クライアントアプリケーションで、システムをリモート管理対象として再登録することができます。

1. システムページで、システム名と同じ行にある履歴アイコンをクリックします。

システムページのシステム名列にはアイコンが入っています。このアイコンは、システムの履歴データへのリンクです。

選択したシステムのインストール済みアップデートのページが表示されます。

2. 「システム設定の編集」をクリックします。

このボタンは、ページ名の下、インストール済みアップデートのリストの上にあります。

3. 「システムを削除」を選択します。

このシステムを **Update Connection** からのリモート管理対象として登録したときに **Sun** に送信された情報が表示されます。この情報は読み取り専用です。

4. 「変更を保存」をクリックします。

注 - 変更を保存しないでこの画面を終了するには、このステップをスキップし、ナビゲーションボタンをクリックします。

変更を保存すると、「システム設定の編集」ウィンドウに戻ります。

5. システム設定のページを終了します。

このページを終了するには、次のいずれかのリンクをクリックします。

- 有効なアップデートを表示
- インストール済みアップデートを表示
- すべてのジョブを表示

Sun Update Connection サービスを使用してシステムを管理する

▼ システムを表示する方法

1. システムページで、「フィルタ」メニューから「すべて」を選択します。

サンオンラインアカウントにリンクされているすべてのシステムが表示されます。

2. (省略可能) システムが表示されない場合は、Sun Update Connection でのリモートアップデート管理対象としてシステムを登録します。

Update Manager アプリケーションで、次の操作を行います。

- 「Sun Update Connection で管理」をクリックします。

システムがリモート管理対象として登録されていない場合、登録画面が表示されません。この画面に、サンオンラインアカウントのユーザー名とパスワードを入力します。

- リモート管理対象として登録します。

Update Connection サービスを開くかどうかをたずねる確認ウィンドウが表示されます。

▼ システムの詳細を表示する方法

- システムページで、システムの名前をクリックします。
システムの詳細を表示するポップアップウィンドウが開きます。この情報は、Sun Update Manager アプリケーションでシステムを登録したときに Sun に送信されたものです。

▼ 1 つまたは複数のシステムの有効なアップデートを表示する方法

有効なアップデートのリストは、システムが Sun にチェックインすると自動的に更新されます。次にシステムがチェックインするまでアップデートはリストに入っているため、リストには変更がリアルタイムで反映されません。

1. システムページで、有効なアップデートを表示するシステムのチェックボックスをオンにします。
2. 「有効なアップデートを表示」をクリックします。
選択したシステムに有効なアップデートがすべて表示されます。

注 - アンインストールされたアップデートは、システムがチェックインして、そのシステムの分析が実行されるまで表示されません。アンインストールされたアップデートは適切でない場合があるので、有効なアップデートのリストには自動的に追加されません。

Sun Update Connection サービスを使用してアップデートを管理する

▼ アップデートをインストールする方法

この手順では、1 つまたは複数のシステムに1 つのアップデートをインストールするジョブを作成する方法について説明します。ジョブが作成された後、各システムは Sun または Sun Update Connection プロキシにチェックインして、待機中のジョブを実行します。

インストールしたアップデートを有効にするためにシステムの再起動が必要な場合、アップデートのインストールは次回のシステムシャットダウン時に行われます。システムシャットダウンを開始するには、次のいずれかのコマンドを使用する必要があります。

- システムの電源オフ - `init 0` または `shutdown -i 0`
- ファームウェアプロンプトへの移動 - `init 5` または `shutdown -i 5`
- システムの再起動 - `init 6` または `shutdown -i 6`

注 - シャットダウンを開始するために、`reboot` コマンド、`halt` コマンド、`uadmin` コマンドを使用したり、リセットボタンや電源ボタンを押したりしないでください。これらの操作を行うと、必要なシャットダウン処理が省略され、アップデートはその後インストールされなくなります。

1. アップデートページで、1 つまたは複数のシステムを選択して「有効なアップデートを表示」をクリックします。
選択した各システムに対するすべてのアップデートのリストを示すウィンドウが表示されます。
2. 選択したシステムにインストールする 1 つまたは複数のアップデートを選択します。
各システムの次のチェックイン時間がウィンドウに表示されます。これは、システムが Sun または Sun Update Connection プロキシにチェックインして、そのシステムの待機中のジョブを実行する時間です。
作成したジョブの詳細を示す確認ウィンドウが表示されます。

注 - 選択したアップデートをインストールするために別のアップデートをインストールする必要がある場合は、この依存パッチを示すダイアログボックスが表示されます。最初に選択したアップデートを正常にインストールするには、依存パッチをインストールするのに同意する必要があります。同意しないと、ジョブは作成されません。

3. 「アップデートを適用」をクリックしてジョブを作成します。
ジョブは、次のチェックイン時に実行するためにキューに入れられます。1 つまたは複数のシステムにインストールするアップデートごとに 1 つのジョブが作成されます。
4. ジョブの情報を破棄するには、「キャンセル」をクリックします。

▼ アップデートをアンインストールする方法

Solaris のコア機能に影響を与える一部のアップデートは、アンインストールできません。アップデートページでは、これらのアップデートはチェックボックス列にダッシュが表示されており、選択することはできません。

システムページから、完了したジョブをクリックして、選択したシステムにすでにインストールされているアップデートのリストと各アップデートのインストール日を表示できます。

1. アップデートページで、アンインストールするアップデートを選択します。
2. 「選択したアップデートをアンインストール」をクリックします。

注 - 1 つまたは複数の依存パッチを持つアップデート (選択したアップデートとともにアンインストールする必要のあるアップデート) をアンインストールしようとする、依存パッチを一覧表示して、アップデートの依存パッチの詳細を示すダイアログボックスが表示されます。アンインストールを続行するには、選択したアップデートと一緒に依存パッチをアンインストールすることに同意する必要があります。「OK」をクリックして同意します。

アンインストール処理が実行されます。アンインストール処理が正常に完了した場合には、確認のダイアログボックスが表示されます。処理が失敗した場合には、失敗したことを説明する確認のダイアログボックスが表示されます。

▼ アップデートの詳細を表示する方法

- アップデートページで、詳細を表示するアップデートのアップデート ID をクリックします。
アップデートの README ファイルがポップアップウィンドウに表示されます。

ジョブの管理

ジョブは 4 つのアクティブステータスのいずれか、またはアーカイブ済みにすることができます。

- **保留中** - ジョブは作成されたが、実行されていない。ジョブがシステムのチェックインや再起動、その他の手動操作を待機しています。保留中のジョブはキャンセル可能です。
- **処理中** - ジョブが開始され、まだ完了していない。ジョブは、システムのチェックインや再起動、その他の手動操作で開始できます。

- **失敗** - ジョブの完了時に異常が発生した。失敗したジョブはアーカイブ対象です。
- **成功** - ジョブが正常に完了した。成功したジョブはアーカイブ対象です。
- **アーカイブ済み** - 完了したジョブは、**Sun Update Connection** ページにあるデフォルトのジョブリストから削除されています。アーカイブ済みのジョブを見るには、フィルタを「アーカイブ済み」に設定します。

▼ ジョブを表示する方法

ジョブページから、任意のステータスのジョブを表示できます。「フィルタ」メニューを使用して、次のいずれかのカテゴリを選択します。

- **すべてのジョブ** - アーカイブされたものを除く、すべてのジョブを一覧表示します。
- **アーカイブ済みジョブ** - 完了してアーカイブされたジョブを一覧表示します。
- **完了したジョブ** - アーカイブされていない、成功ステータスまたは失敗ステータスのジョブを一覧表示します。
- **アクティブなジョブ** - 保留中ステータスまたは処理中ステータスのジョブを一覧表示します。

1. ジョブページで、「フィルタ」メニューから表示するジョブの値を選択します。
2. 「選択したジョブを表示」ボタンをクリックすると、ジョブの詳細が表示されます。
このページは自動的に更新されません。画面を更新して進捗状況を表示するには、ブラウザの再ロードボタンまたは更新ボタンをクリックします。

▼ ジョブの詳細を表示する方法

1. ジョブページで、1つまたは複数のジョブを選択します。
詳細を表示するジョブそれぞれのチェックボックスをオンにします。表示されるジョブは、フィルタの選択内容によって異なります。該当するジョブが表示されない場合は、フィルタの選択を「すべてのジョブ」に変更します。
2. 「選択したジョブを表示」をクリックします。
選択したジョブの詳細が表示されます。この画面のリンクでは、システム名やアップデートの概要をクリックして、システムおよびアップデートの詳細を表示することができます。
3. (省略可能) システム名をクリックして、システムの詳細を表示します。
4. (省略可能) アップデートの概要をクリックして、アップデートの詳細を表示します。

▼ システムページからジョブを作成する方法

ジョブを使用して、アップデートのインストールおよびアンインストールを行うことができます。アップデートページでジョブを作成する方法については、「28 ページの「アップデートページからジョブを作成する方法」」を参照してください。

1. システムページで、1 つまたは複数のシステムを選択します。
2. 「有効なアップデートを表示」をクリックします。
選択した各システムに有効なアップデートのリストが表示されます。選択した各システムは、そのシステムに有効なアップデートと一緒に表示されます。
3. 表示されたシステムに対して 1 つまたは複数のアップデートを選択します。
表示されているシステムのすべてのアップデートを選択するには、システムのチェックボックスをオンにします。
4. 「アップデートを適用」をクリックします。
選択したアップデートは、選択したシステムにすでにインストールされているアップデートと照合され、選択したアップデートに依存パッチがないかが判断されます。
5. (省略可能) 1 つまたは複数の依存パッチが検出された場合は、依存パッチのインストールに同意します。
ジョブを作成して、キューに挿入するには、選択したアップデートと一緒に、表示された依存パッチをインストールすることに同意する必要があります。ウィンドウを閉じて選択内容を破棄したり、ジョブを作成しない場合は、「依存パッチ」ウィンドウの「キャンセル」をクリックします。
6. 作成され、予定されているジョブを一覧表示した確認画面をチェックします。
確認画面には、インストールするアップデート、アップデートをインストールするシステムのホスト名、および予定インストール日時が一覧表示されます。

注 - ジョブの予定日時は、アップデートをインストールするシステムの次のチェックイン予定日時です。

予定されたジョブは待機状態になり、関連システムの次のチェックイン時に実行されます。

▼ アップデートページからジョブを作成する方法

ジョブは、選択した1つまたは複数のシステムにインストールされる1つのアップデートです。インストールジョブやアンインストールジョブの作成は、システムページまたはアップデートページで行います。「27 ページの「システムページからジョブを作成する方法」」を参照してください。

1. アップデートページで、1つまたは複数のアップデートを選択します。
関連システムの数に関係なく、インストールするアップデートごとに1つのジョブが作成されます。複数のアップデートを選択した場合には、複数のジョブが作成されます。すなわち、アップデートごとに1つのジョブが作成されます。
2. 「関連システムを表示」をクリックします。
選択した各アップデートに有効なシステムのリストが表示されます。選択した各システムは、そのシステムで有効なアップデートと一緒にグループ形式で表示されます。
3. 表示されたシステムに対して1つまたは複数のアップデートを選択します。
表示されているシステムのすべてのアップデートを選択するには、システムのチェックボックスをオンにします。
4. 「アップデートを適用」をクリックします。
選択したアップデートは、選択したシステムにすでにインストールされているアップデートと照合され、選択したアップデートに依存パッチがないかが判断されます。
5. (省略可能) 1つまたは複数の依存パッチが検出された場合は、依存パッチのインストールに同意します。
ジョブを作成して、キューに挿入するには、選択したアップデートと一緒に、表示された依存パッチをインストールすることに同意する必要があります。ウィンドウを閉じて選択内容を破棄したり、ジョブを作成しない場合は、「依存パッチ」ウィンドウの「キャンセル」をクリックします。
6. 作成され、予定されているジョブを一覧表示した確認画面をチェックします。
確認画面には、インストールするアップデート、アップデートをインストールするシステムのホスト名、および予定インストール日時が一覧表示されます。

注 - ジョブの予定日時は、アップデートをインストールするシステムの次のチェックイン予定日時です。

予定されたジョブは待機状態になり、関連システムの次のチェックイン時に実行されます。

▼ 実行中のジョブを追跡する方法

実行中のジョブとは、処理中ステータスのジョブのことです。

ジョブページから、任意のステータスのジョブを表示できます。「フィルタ」メニューを使用して、次のいずれかのカテゴリを選択します。

- すべてのジョブ - アーカイブされたものを除く、すべてのジョブを一覧表示します。
 - アーカイブ済みジョブ - 完了してアーカイブされたジョブを一覧表示します。
 - 完了したジョブ - アーカイブされていない、成功ステータスまたは失敗ステータスのジョブを一覧表示します。
 - アクティブなジョブ - 保留中ステータスまたは処理中ステータスのジョブを一覧表示します。
1. ジョブページで、「フィルタ」メニューから「処理中」を選択します。
開始されているがまだ完了していないジョブが、リストに表示されます。ジョブが表示されない場合は、そのジョブが完了または保留中になっている場合があります。
 2. 「選択したジョブを表示」ボタンをクリックすると、ジョブの詳細が表示されます。
このページは自動的に更新されません。画面を更新して進捗状況を表示するには、ブラウザの再ロードボタンまたは更新ボタンをクリックします。

▼ 完了したジョブをアーカイブする方法

完了したジョブにはそれぞれ、失敗または成功のステータスがあります。完了したジョブのみアーカイブすることができます。このアイコンのあるジョブはアーカイブできます。

1. ジョブページで、「フィルタ」メニューから「すべて」を選択します。
現在の（アーカイブされていない）ジョブがすべて表示されます。
2. アーカイブする完了したジョブを 1 つまたは複数選択します。
失敗または成功ステータスになっている完了したジョブのチェックボックスをオンにします。
3. 「選択したジョブをアーカイブ」をクリックします。
選択した完了ステータスのジョブをアーカイブすることを確認するポップアップメッセージが表示されます。保留中または処理中ステータスのジョブはアーカイブできません。

▼ ジョブのステータスを表示する方法

- ジョブページで、「フィルタ」メニューから「すべてのジョブ」を選択します。
現在の（アーカイブされていない）全ジョブのリストが、各ジョブのステータスと一緒に表示されます。アーカイブ済みジョブは、このリストには表示されません。

▼ 保留中のジョブをキャンセルする方法

保留中ステータスのジョブのみキャンセルすることができます。「選択したシステムのアップデートをキャンセル」ウィンドウが表示されます。このウィンドウには、キャンセルするように要求したジョブのアップデートの詳細とシステムの詳細が表示されます。

1. ジョブページで、「フィルタ」メニューから（「アクティブなジョブ」の下にある）「保留中」を選択します。
2. キャンセルするジョブのチェックボックスをオンにします。
3. キャンセルする 1 つまたは複数のジョブを選択します。
4. 「選択したジョブをキャンセル」をクリックします。
5. ジョブをキャンセルすることを確認します。
 - ジョブをキャンセルするには、「OK」をクリックします。
ジョブは失敗ステータスに移動して、実行予定のキューから削除されます。
 - ジョブのキャンセル要求を破棄するには、「キャンセル」をクリックします。
ウィンドウは閉じられ、要求が破棄されて、「ジョブ詳細」ウィンドウに戻ります。

Sun Update Connection の ナビゲーション

この章では、Sun Update Connection サービスのユーザーインターフェースとインターフェースによるナビゲート方法について説明します。

概要、システム、アップデート、およびジョブのページには、アップデート情報を表示したり、システムのアップデートを管理する、さまざまな方法が用意されています。これらのページにアクセスするには、該当するタブをクリックします。

この章には次の主要なセクションが含まれています。

- 32 ページの「概要ページ」
- 35 ページの「システムページ」
- 44 ページの「アップデートページ」
- 50 ページの「ジョブページ」

概要ページ

概要ページは、Update Connection にログインすると表示されるページです。このページに表示される情報は、Update Connection の他のページで使用可能な情報を集めたものです。



fname 様

このページでは、システムが Sun Update Connection にチェックインしたかどうかを確認し、システム用の最新のアップデートを確認して最近のジョブのステータスを監視できます。

システム	アップデート	ジョブ
未チェックイン 12 システムの合計数 12 すべてを参照	セキュリティ システムのセキュリティ確保に必要です。 7 推奨 Sun が推奨するアップデートです。 8 機能のアップデート インストール済みのソフトウェアアプリケーションのアップデートです。 6 重要ではない 現在インストールされているアップデートの最新リリースです。 8 アップデートの合計数 29 すべてを参照	失敗 1 つまたは複数のシステムにアップデートを適用できませんでした。 9 成功 すべてのシステムに正常にアップデートが適用されました。 0 完了したジョブの合計数 9 アクティブなジョブの合計数 4 すべてを参照

このセクションでは、このページからのナビゲーションおよびページに含まれる情報について説明します。

システムの表

この表の各項目で値がゼロより大きいものは、システム情報へのリンクです。

■ 未チェックイン

システムは、デフォルトまたはユーザーが選択したチェックイン間隔に従って Sun にチェックインします。デフォルトのチェックイン間隔は 2 時間です。詳細については、19 ページの「システムのチェックイン間隔を設定する方法」を参照してください。システムが Sun に接続していない状態で、予定のチェックイン時間が 2 回以上過ぎた場合、システムは未チェックインとみなされます。

アラートアイコンは、重大な問題の可能性があるとみなされる状況を示します。システムが予定された間隔で Sun にチェックインしていないことは、システムがダウンしているか、他に対処が必要な状況であることを意味します。

「未チェックイン」リンクをクリックすると、フィルタが「未チェックイン」に設定されているシステムページが開きます。

■ システムの合計数

次の条件に一致するシステムの合計数。

- システムが、Sun Update Manager アプリケーションで、Update Connection を使用したリモートアップデート管理対象として登録されている。
- システムが、このセッションで使用するサンオンラインアカウントと関連している。

「システムの合計数」リンクをクリックすると、フィルタが「すべて」に設定されているシステムページが開きます。

■ すべてを参照

フィルタが「すべて」に設定されているシステムページを開きます。システムのリストには、Sun Update Manager アプリケーションで Update Connection を使用したリモートアップデート管理対象として登録されたシステム、およびこのセッションで使用するサンオンラインアカウントと関連したシステムがすべて含まれます。

「すべてを参照」をクリックすると、フィルタが「すべて」に設定されているシステムページが開きます。

アップデートの表

この表の各列には、アップデートのカテゴリとそのカテゴリに入っている有効なアップデートの数、およびすべてのカテゴリのアップデートの合計数が一覧表示されます。有効なアップデートが1つまたは複数あるカテゴリはそれぞれリンクになっており、リンクをクリックするとフィルタがそのアップデートのカテゴリに設定されているアップデートページが開きます。

■ アップデートカテゴリ

この表には、Sun から取得した有効なアップデートに含まれる各アップデートカテゴリが表示されています。また、カテゴリの中で登録したシステムに有効なアップデートの数が、カテゴリとともに表示されます。

カテゴリの数が1つまたは複数の場合、カテゴリ名は、フィルタがカテゴリ名に設定されたアップデートページへのリンクになります。

■ アップデートの合計数

アップデートカテゴリの合計数です。この Update Connection セッションに含まれるすべての登録済みシステムで有効なアップデートの合計数を表します。

この数が1以上であれば、この見出しはフィルタが「すべて」に設定されたアップデートページへのリンクになります。

- **すべてを参照**

このボタンをクリックすると、フィルタが「すべて」に設定されたアップデートページが開きます。

ジョブの表

この表には、完了したジョブのステータス、および完了したジョブの合計数とアクティブなジョブの合計数が一覧表示されます。

- **失敗**

正常に完了しなかったジョブの数。この数が1以上であれば、「失敗」はフィルタが「失敗」に設定されたジョブページを開くリンクになります。

- **成功**

正常に完了したジョブの数。この数が1以上であれば、「成功」はフィルタが「成功」に設定されたジョブページを開くリンクになります。

- **完了したジョブの合計数**

ステータスが失敗または成功で、アーカイブされていないジョブの合計数。この数が1以上であれば、「完了したジョブの合計数」はフィルタが「完了したジョブ」に設定されたジョブページを開くリンクになります。

- **アクティブなジョブの合計数**

ステータスが「保留中」または「処理中」になっている現在のジョブの数。この数が1以上であれば、「アクティブなジョブの合計数」はフィルタが「アクティブなジョブ」に設定されたジョブページを開くリンクになります。

- **すべてを参照**

このボタンをクリックすると、フィルタが「すべて」に設定されたジョブページが開きます。

システムページ



システム

このページでは、Sun Update Connection に登録した各システムのステータスが表示され、システムが最後にチェックインされた日を確認できます。各システム用の有効なアップデートの数と最近のジョブのステータスも確認できます。アップデート処理を開始するには、アップデートするシステムの横のボックスを選択し、「有効なアップデートを表示」をクリックします。

システム	最終チェックイン	有効なアップデート	ジョブステータス
123jwkang	▲18:00 2005/04/22	0	- - - -
sw-update2	▲04:42 2005/04/18	0	- - - -
sw-update3	▲04:43 2005/04/18	0	- - - -
swup-update4	▲04:43 2005/04/18	0	- - - -
sw-update5	▲04:43 2005/04/18	0	- - - -
sw-update4	▲04:46 2005/04/18	0	- - - -
My ServerPC	▲00:45 2005/05/25	0	- - - -
sw-update1-better-name	▲20:33 2005/06/09	8	7 1 2 1
sw-update1-better-7777	▲20:33 2005/06/09	13	4 - 1 1
sw-update3-commonf2	▲20:33 2005/06/09	13	2 - 1 1
sw-update4-common	▲20:33 2005/06/09	1	- 1 - -
sw-update5-common	▲20:33 2005/06/09	0	- - - -

ジョブの概要	数
すべてのジョブ (13)	
失敗	9
成功	0
処理中	3
保留中	1

このウィンドウには、管理対象システムのリストと、各管理対象システムで有効なすべてのアップデートとジョブの要約情報が表示されています。「フィルタ」フィールドを使用すると、未チェックイン、チェックイン済み、すべてのシステムなど、システムのサブセットを表示して、すべての管理対象システムのリストを参照することができます。

この画面の主な機能は、システムを表示し、そのシステムのアップデートにドリルダウンして、そのシステムにインストールするアップデートを決定することです。システム名、有効なアップデートの数、またはジョブの数をクリックすると、各システム、各アップデート、または各ジョブの詳細が表示されます。

注 - ジョブは、1つまたは複数のシステムにインストールされる1つのアップデートです。1つのシステムに複数のアップデートをインストールするように要求した場合には、インストールするアップデートごとに1つのジョブが生成されます。複数のシステムに1つのアップデートをインストールするように要求した場合には、複数のステップを持つ1つのジョブになります。

システム画面は、Update Connection での管理対象として登録された Sun システムを管理するための出発点です。このウィンドウには、他の機能に移動するためのワンクリックリンクが複数あります。アップデートを表示および適用するボタンも、このウィンドウにあります。

それぞれ複数の特徴と機能を持った「システム」ウィンドウがいくつかあります。各ページで使用できる機能については、このセクションで詳しく説明します。

システム

メインのシステムページには登録済みのシステムが表示されます。ここでは、1 つまたは複数のアップデートを任意のシステムにインストールすることができます。この画面では、複数のナビゲーションパスが使用できます。

注 – システムの表示に関する詳細および手順については、22 ページの「システムを表示する方法」を参照してください。

■ 「有効なアップデートを表示」 ボタン

「システム: 有効なアップデート」の画面を表示し、選択した各システム (システム画面のチェックボックスがオンになっている) およびそのシステムで有効なアップデートを一覧表示します。

■ システム名

システム名をクリックすると、「システム詳細」ポップアップウィンドウが開きます。

■ ジョブステータスの数

ゼロより大きな数字をクリックするとシステム画面が開き、選択したシステムで選択したステータスのジョブがすべて一覧表示されます。このウィンドウからのナビゲーションには、次のようなものがあります。

■ 「システム名」リンク

システム名をクリックすると、「システム詳細」ポップアップウィンドウが開きます。

■ 選択したジョブをキャンセル

1 つまたは複数の保留中のジョブをキャンセルするには、1 つまたは複数のジョブのチェックボックスをオンにしてから、「選択したジョブをキャンセル」ボタンをクリックします。保留中以外のステータスのジョブはキャンセルできないため、選択できません。

■ リストに戻る

ここをクリックすると、メインのシステム画面に戻ります。

- 「ジョブの概要」のサイドバーリンク

「ジョブの概要」サイドバーのデータの一部は、次のリンクになっています。

- ジョブステータス番号

ゼロより大きな任意の数字をクリックすると、ジョブページが開き、そのステータスのジョブのうち、このセッションで作成されたすべてのジョブが一覧表示されます。

- 「すべてを表示」ボタン

「すべてを表示」をクリックすると、メインのジョブページが開きます。

- 「概要」タブ

「概要」タブをクリックすると、概要ページが開きます。

- 「アップデート」タブ

「アップデート」タブをクリックすると、メインのアップデートページが開き、すべての登録済みシステムで有効なすべてのアップデートが一覧表示されます。

- 「ジョブ」タブ

「ジョブ」タブをクリックすると、メインのジョブページが開き、アーカイブされていないすべてのジョブが一覧表示されます。

システム - 有効なアップデート

この画面では、各システムで有効なアップデートに関する情報を見ることができます。この情報には、アップデートのタイプ、アップデートを手動でインストールする必要があるか、システムの再起動が必要か、アップデートのリリース日、および各アップデートの依存パッチ数などがあります。

注 - 1 つまたは複数のシステムで有効なアップデートを表示する詳しい手順については、23 ページの「1 つまたは複数のシステムの有効なアップデートを表示する方法」を参照してください。

各システムに使用するアップデートを選択し、「アップデートを適用」をクリックします。すると、1 つまたは複数のジョブが作成され、次の操作が実行されます。

- 依存パッチがないかをチェックする。
- 依存パッチを一覧表示する確認ウィンドウが表示される。
- この画面で選択されたジョブを含む、待機中のすべてのジョブを示す確認ウィンドウが表示される。
- アップデートがダウンロードされ、各関連システムの次のチェックイン時にインストールされるように待機状態になる。

▼ 選択したアップデートとともに依存するアップデートをインストールする方法

1. システムページで、アップデートをインストールするシステムのチェックボックスを1つまたは複数選択します。
2. 「有効なアップデートを表示」をクリックします。
3. インストールするアップデートのチェックボックスを選択し、「アップデートを適用」をクリックします。

Update Connection が選択したアップデートの情報を検索し、選択したアップデートをインストールする前に1つまたは複数のアップデートをインストールする必要がある場合は、「インストールの依存パッチと確認」ウィンドウに依存パッチが表示されます。

注 - 依存パッチがある場合はすべてインストールする必要があります。インストールしないと、選択したアップデートをインストールするジョブを作成できません。

4. 「上記のアップデートをすべてインストール」ボタンをクリックして、一覧表示された依存パッチと選択したアップデートのインストールに同意します。ジョブが作成され、確認ウィンドウが表示されます。
依存パッチをインストールしない場合は、「キャンセル」をクリックしてウィンドウを閉じ、アップデートのインストール要求を破棄します。
5. タブをクリックして、確認ウィンドウから移動します。

システム - すべてのジョブ

この画面にアクセスするには、システムのジョブステータス番号をクリックするか、「システム名」フィールドの履歴アイコンをクリックします。「すべてのジョブ」画面には、選択したシステムで行うジョブが表示されます。この画面では、複数のナビゲーションパスが使用できません。

■ 「ジョブステータス」リンク

「ジョブ詳細」ウィンドウを開きます。

■ 「摘要」リンク

「アップデートの詳細」ポップアップを開きます。ポップアップを閉じるには「閉じる」をクリックします。

■ 「インストール済みアップデートを表示」リンク

「インストール済みアップデート」ウィンドウを開きます。このページでは、当該のシステムにインストールされたすべてのアップデートを表示できます。また、各アップデートがインストールされた日付、各アップデートの依存パッチの数、およびアップデートのインストール方法も表示されます。アップデートをアンインストールするには、アンインストールするアップデートの横にあるチェックボックスをオンにして、「選択したアップデートをアンインストール」をクリックします。

■ 「有効なアップデートを表示」リンク

「システム - 有効なアップデート」ウィンドウを開きます。このページには、各システムで有効なアップデートに関する情報が表示されます。この情報には、アップデートのタイプ、アップデートを手動でインストールする必要があるか、システムの再起動が必要か、アップデートのリリース日、および各アップデートの依存パッチ数などがあります。「摘要」または「アップデート ID」をクリックすると、アップデートに関する詳細な情報を見ることができます。システムへのアップデートの適用を開始するには、適用するアップデートの横にあるチェックボックスをオンにして、「アップデートを適用」をクリックします。

■ 「システム設定を編集」リンク

「システム設定を編集」ウィンドウを開きます。このウィンドウでは、次の操作を実行できます。

■ システムの名前（一般名）の編集

20 ページの「システム名を変更する方法」を参照してください。

■ システムのチェックイン間隔の変更

19 ページの「システムのチェックイン間隔を設定する方法」を参照してください。

■ Sun が保管しているシステムの詳細情報の表示

■ 「詳細を表示」ボタン

「ジョブ詳細」ウィンドウを開きます。このウィンドウでは、各システムで最近実行したジョブのステータスを表示したり、ジョブが失敗した原因に関する情報を見たりすることができます。ジョブが成功または失敗したら、ジョブのアーカイブを選択し、履歴に保存してこの表示から削除することができます。

■ 「リストに戻る」ボタン

システムのメインウィンドウを開きます。

■ 「戻る」ボタン

このウィンドウの直前に開いていたウィンドウに戻ります。

選択したシステムにすでにインストールされているすべてのアップデートのリストを表示します。この情報は、選択したシステムのキャッシュから取り出されます。

システム - インストール済みアップデート

このページでは、当該のシステムにインストールされたすべてのアップデートを表示できます。また、各アップデートがインストールされた日付、各アップデートの依存パッチの数、およびアップデートのインストール方法も表示されます。アップデートをアンインストールするには、アンインストールするアップデートの横にあるチェックボックスをオンにして、「選択したアップデートをアンインストール」をクリックします。この画面では、複数のナビゲーションパスが使用できます。

- 「すべてのジョブを表示」リンク

「システム - すべてのジョブ」ウィンドウを開きます。詳細については、前述の説明を参照してください。

- 「有効なアップデートを表示」リンク

「システム - 有効なアップデート」ウィンドウを開きます。詳細については、前述の説明を参照してください。

- 「システム設定を編集」リンク

「システム設定を編集」ウィンドウを開きます。詳細については、前述の説明を参照してください。

- 「選択したアップデートのアンインストール」ボタン

「依存パッチのアンインストールと確認」ページを開きます。

- 「リストに戻る」ボタン

メインのシステムページを開きます。

データ列

Update Connection サービスのシステム機能領域には 4 つの機能ウィンドウが含まれています。各ウィンドウではシステムアップデートおよびジョブ情報がさまざまな方法で表示されているので、すべてのシステム、そのアップデート履歴、待機中のジョブ、有効なアップデートなどを表示できます。ここでは、各ウィンドウのデータ列について、ウィンドウごとに 1 つの表にして説明します。

システム (メイン)

次の表にメインのシステム画面の列、データの説明、列の内容からのリンク、このデータからアップデートの管理に移動する方法を一覧表示します。

注 - このウィンドウのデータは、ブラウザの更新ボタンを使用して更新できます。更新または再ロードを要求するまで、セッション中のデータは変更されません。

列の見出し行に三角形のアイコンが付いている列を、並べ替えキーとして使用することができます。フィールドの多くは、システム詳細へのリンクです。

表 4-1 システム (メイン) のデータ列

列	説明
チェックボックス	各システムには、そのシステムと、そのシステムに対して表示されている全アップデートを選択するためのチェックボックスが付いています。 「すべて選択」ボタンと「すべてクリア」ボタンを使用して、リスト内の全チェックボックスをオンまたはオフにすることができます。
システム	Update Connection サービスによって管理されるように、Update Manager アプリケーションで登録された管理対象システムのホスト名。 リンク： <ul style="list-style-type: none">システム名をクリックすると、システムの詳細 (Update Manager でのシステム登録時に Sun に送信されたシステムデータ) を表示するポップアップウィンドウが開きます。この列の右側にあるアイコンで、システムのジョブ履歴ウィンドウを開くことができます。
最終チェックイン	システムが Update Connection を介して最後に Sun に接続した時の日付スタンプ。システムを選択し、システムのリストに上にあるシステムプリファレンスの編集ボタンをクリックして、システム画面の各システムのチェックインプリファレンスをカスタマイズすることができます。 <ul style="list-style-type: none">今日チェックインしたシステムの場合には、時刻と日付が表示されます。今日より前にチェックインしたシステムの場合には、日付のみが表示されます。未チェックインは、システムが 1 回または 2 回以上連続してチェックインサイクルに失敗したことを意味します。 <p>最終チェックインのタイムスタンプの左側のアラートアイコンは、システムが未チェックインステータスであることを示します。つまり、システムは 1 回以上、予定のチェックイン時間にチェックインできなかったということです。</p>
有効なアップデート	システムに対して、Update Manager 分析エンジンが検出したアップデートの数。 リンク： <ul style="list-style-type: none">数字は、表示されたカウントに含まれるアップデートを一覧表示するウィンドウを開くためのリンクです。数字をクリックすると、システムの有効なアップデートのウィンドウが表示されます。
ジョブステータス： 保留中	現在保留中ステータスのジョブの数。保留中のジョブは、システムがチェックインして、アップデートを Sun からシステムにダウンロードするのを待機しています。ジョブが開始されると、ステータスは保留中から処理中に変ります。保留中のジョブだけをキャンセルできます。 リンク： <ul style="list-style-type: none">数字は、このカウントに含まれるジョブの詳細を表示するためのリンクです。「システム:すべてのジョブ」の画面は、「保留中」フィルタを適用して開くので、保留中のジョブのみが表示されます。 <p>「ジョブの概要」ウィンドウには、このセッションで作成されたばかりのジョブの追加情報と、4 つのステータスに分類されたジョブの内訳が表示されます。</p>

表 4-1 システム (メイン) のデータ列 (続き)

列	説明
ジョブステータス: 処理中	<p>現在処理中ステータスのジョブの数。再起動が必要なアップデートをインストールするジョブは、アップデートをシステムにダウンロードすると処理中になります。ジョブは、次のシステム再起動時にアップデートがインストールされて有効になるまで処理中のままです。処理中のジョブはキャンセルできません。</p> <p>注: 再起動待ちのアップデートのステータスは、再起動して、インストールが成功または失敗した後も処理中のままです。アップデートをアーカイブして、アクティブなアップデートのリストと数から削除することができます。</p> <p>リンク:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 数字は、このカウントに含まれるジョブの詳細を表示するためのリンクです。 • 「システム:すべてのジョブ」の画面は、「処理中」フィルタを適用して開くので、処理中のジョブのみが表示されます。 • ジョブの詳細には、各ジョブの現在の実行段階が含まれています。この詳細は、手動操作が必要かどうかを判断するときに役立ちます。
ジョブステータス: 成功	<p>正常に完了したジョブの数。これは、2つの完了状態のうちの1つです。成功と失敗は、両方とも完了したとみなされます。</p> <p>リンク:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 数字は、このカウントに含まれるジョブの詳細を表示するためのリンクです。 • 「システム:すべてのジョブ」の画面は、「成功」フィルタを適用して開くので、成功したジョブのみが表示されます。
ジョブステータス: 失敗	<p>正常に完了しなかったジョブの数。ジョブの詳細には、失敗したジョブのインスタンスと原因を追跡できるログエントリが含まれています。失敗したジョブは再開できません。もう一度やり直すには、新しいジョブを作成してください。</p> <p>リンク:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 数字は、このカウントに含まれるジョブの詳細を表示するためのリンクです。 • 「システム:すべてのジョブ」の画面は、「失敗」フィルタを適用して開くので、失敗したジョブのみが表示されます。 • ジョブの詳細には、各ジョブの現在の実行段階が含まれています。この詳細は、手動操作が必要かどうかを判断するときに役立ちます。

システム：有効なアップデート

見出し行にはフィールドとリンク、各本体行にはチェックボックスとリンクが入っています。次の表には、画面のすべてのフィールド、およびリンクとジャンプ先を含む各フィールドの説明が一覧表示されます。

表 4-2 「システム：有効なアップデート」のデータ列

列	説明
見出し行	
チェックボックス	各システムには、システムおよびそのシステムのすべてのアップデートを選択するためのチェックボックスがあります。
システム名	Update Connection サービスによって管理されるように、Update Manager アプリケーションで登録された管理対象システムのホスト名。 リンク： <ul style="list-style-type: none">システム名をクリックすると、システムの詳細 (Update Manager でのシステム登録時に Sun に送信されたシステムデータ) を表示するポップアップウィンドウが開きます。この列の右側にあるアイコンで、システムのジョブ履歴ウィンドウを開くことができます。
次のチェックイン	システムの次の予定チェックイン日時。チェックインの頻度は、システム設定 (「システム：すべてのジョブ」の「システム設定を編集」ボタン) で変更できます。
本体行	
チェックボックス	各アップデートには、そのアップデートを選択するためのチェックボックスが付いています。
アップデート ID	アップデートに Sun が割り当てた固有の ID。ID をクリックすると、アップデートの詳細を表示するポップアップウィンドウが開きます。
摘要	アップデートの簡単な説明。摘要をクリックすると、アップデートの詳細を表示するポップアップウィンドウが開きます。
リリース日	顧客のインストール用に Sun がアップデートをリリースした日付。
依存パッチ	表示されているアップデートのインストール前にインストールが必要な、他のアップデートの数。数字をクリックすると、依存パッチの ID、摘要、および詳細を表示するポップアップウィンドウが開きます。

アップデートページ

「アップデート」タブをクリックすると、全管理対象システムのすべての有効なアップデートのリストが表示されます。



アップデート

このページでは、システム用のさまざまなタイプの有効なアップデートを ID、名前、タイプ、関連システム数、およびアップデートのリリース日別に表示できます。現在のベースラインを確認するには、「システム設定を編集」にアクセスしてください。

アップデート ID	概要	タイプ	関連システム	リリース日
118262-01	The se6320 Midrange (Maserati) JAVA patch	推奨	1	2004/11/22
116121-01	X11 6.4.1: platform support for new hardware	重要ではない	1	2003/10/31
114602-04	X11 6.6.1: libmpg_psr patch	推奨	1	2004/09/15
113513-02	X11 6.6.1: platform support for new hardware	セキュリティ	1	2003/01/02

ステータス	数
失敗	9
成功	0
処理中	3
保留中	2

アップデートページは、Update Connection サービスでの管理対象として登録されたシステムの Sun アップデートを管理するための出発点です。このページには、他の機能に移動するためのワッククリックリンクが複数あります。アップデートを表示および適用するボタンもこのページにあります。

それぞれ複数の特徴と機能を持った「アップデート」ウィンドウがいくつかあります。各ウィンドウについては、このセクションで詳しく説明します。

アップデート

メインのアップデートページには、すべての有効なアップデート、および各アップデートに関連する登録済みシステムの数が表示されます。このページでは、システムで有効なすべての異なるタイプのアップデートが、ID、名前、タイプ、関連するシステムの数、およびアップデートのリリース日別で表示できます。

このウィンドウでは、複数のナビゲーションパスが使用できます。

■ 「関連システムを表示」 ボタン

「アップデート - 関連システム」ウィンドウを開き、アップデート、およびそのアップデートに関連する各システムの一覧を表示します。

■ 「アップデート ID」 リンク

アップデートの README ファイルをポップアップウィンドウで開きます。ポップアップを閉じるには「閉じる」をクリックします。

■ 「摘要」 リンク

アップデートの README ファイルをポップアップウィンドウで開きます。ポップアップを閉じるには「閉じる」をクリックします。

■ 「概要」 タブ

「概要」タブをクリックすると概要ページが開きます。32 ページの「概要ページ」を参照してください。

■ 「システム」 タブ

「システム」タブをクリックすると、メインのシステムページが開き、すべての登録済みシステムの一覧が表示されます。32 ページの「システムの表」を参照してください。

■ 「ジョブ」 タブ

「ジョブ」タブをクリックすると、メインのジョブページが開き、アーカイブされていないすべてのジョブが一覧表示されます。

アップデート - 関連システム

このページには、各アップデートおよびそのアップデートに関連するシステムが表示されます。また、システムステータス、各アップデートの依存パッチ、および各システムに現在インストールされているアップデートのバージョンも表示されます。システムへのアップデートの適用を開始するには、適用するアップデートの横にあるチェックボックスをオンにして、「アップデートを適用」をクリックします。

このウィンドウでは、複数のナビゲーションパスが使用できます。

■ 「アップデートを適用」 ボタン

Update Connection に、次のアクションを完了するジョブの作成を指示します。

- 依存パッチがないかをチェックする。
- すべての依存パッチのリストを含む確認ウィンドウを表示する。
- この画面で選択されたジョブを含む、待機中のすべてのジョブを示す確認ウィンドウを表示する。

38 ページの「選択したアップデートとともに依存するアップデートをインストールする方法」を参照してください。

■ リストに戻る

メインのアップデートページを開きます。

依存パッチと確認

選択したアップデートをインストールするときに1つまたは複数の（選択されていない）アップデートをインストールする必要がある場合に、ウィンドウが表示されます。ウィンドウの見出しは次のようになります。

システムのホスト名:アップデート ID の依存パッチ

本文中で依存パッチについて説明されています。

- 「上記のアップデートをすべてインストール」をクリックして、依存パッチを含めたアップデートのインストールを実行します。
- このウィンドウを閉じて、アップデートをインストールするために作成されたジョブを一覧表示した「予定されているジョブの確認」ウィンドウを開きます。

アップデートのインストールが予定されたジョブの確認

いくつかのジョブを正常に予定したことを確認します。このページは、ブラウザの印刷オプションを使用して記録のために印刷することができます。予定されたアップデートをキャンセルするには、ジョブリストを表示します。システムのメインページまたはアップデートのメインページで、引き続き新しいアップデートを待機中にできます。

このページからのナビゲーションは、「概要」、「システム」または「ジョブ」タブ、および「リストに戻る」ボタンで行います。

データ列

Update Connection サービスのアップデート機能領域には 2 つの主要な機能ウィンドウが含まれています。各ウィンドウではシステムアップデートおよびジョブ情報がさまざまな方法で表示されているので、システムの有効なアップデートをすべて表示できます。ここでは、各ウィンドウのデータ列について、ウィンドウごとに 1 つの表にして説明します。

アップデート

次の表にメインのアップデート画面の列、データの説明、列の内容からのリンク、このデータからアップデートの管理に移動する方法を一覧表示します。

注 - このウィンドウのデータは、ブラウザの更新ボタンを使用して更新できます。更新または再ロードを要求するまで、セッション中のデータは変更されません。

列の見出し行に三角形のアイコンが付いている列で並べ替えることができます。データのほとんどはリンクです。

表 4-3 「アップデート (メイン)」のデータ列

列	説明
チェックボックス	各アップデートには、そのアップデートを選択するためのチェックボックスが付いています。 「すべて選択」ボタンと「すべてクリア」ボタンを使用して、リスト内の全チェックボックスをオンまたはオフにすることができます。
アップデート ID	アップデートに Sun が割り当てた固有の ID。
摘要	アップデートを簡単に説明したテキスト識別子。 リンク： <ul style="list-style-type: none"> • 摘要をクリックすると、アップデートの詳細を表示するポップアップウィンドウが開きます。 • 摘要の右側にあるアイコンは、アップデートのインストールに再起動が必要かどうか、またはインストールに手動操作が必要かどうかを示します。アップデートにアイコンが表示されていない場合、次のウィンドウで選択する各システムが次回チェックインするときに、アップデートをそのシステムにインストールすることができます。
タイプ	アップデートのカテゴリ。選択できるタイプは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • セキュリティ • 推奨 • 重要ではない • 機能
関連システム	Update Manager 分析エンジンによって、このアップデートに関連していると検出されたシステムの数。 リンク： <ul style="list-style-type: none"> • 数字をクリックすると、「アップデート: 関連システム」のウィンドウが表示されます。
リリース日	表示されているアップデートが Sun からリリースされた日付。 このフィールドはリンクではありません。

アップデート : 関連システム

見出し行にはフィールドとリンク、各本体行には選択チェックボックスとリンクが入っています。次の表には、画面のすべてのフィールド、およびリンクとジャンプ先を含む各フィールドの説明が一覧表示されます。

表 4-4 「アップデート : 関連システム」のデータ列

列	説明
見出し行	
チェックボックス	各アップデートにチェックボックスが付いています。そのボックスをオンにすると、アップデートとそのアップデートに関連するすべてのシステムが選択されます。
アップデート ID: 摘要	アップデートに Sun が割り当てた固有の ID。ID をクリックすると、アップデートの詳細を表示するポップアップウィンドウが開きます。ここではアップデートについて簡単に説明されています。摘要をクリックすると、アップデートの詳細を表示するポップアップウィンドウが開きます。
本体行	
チェックボックス	各システムのチェックボックスをオンにすると、その登録済みシステムに表示されているアップデートのインストール先としてシステムが選択されます。
システムステータス	表示されているシステムのステータス。表示されるステータスは、チェックイン済みまたは未チェックインです。システムが 3 回連続でチェックイン時間に Sun に接続できなかった場合、未チェックインとみなされます。
システム名	Update Connection サービスによって管理されるように、Update Manager アプリケーションで登録された管理対象システムのホスト名。
依存パッチ	表示されているアップデートのインストール前にインストールが必要な、他のアップデートの数。数字をクリックすると、依存パッチの ID、摘要、および詳細を表示するポップアップウィンドウが開きます。
インストール済みのバージョン	表示されているシステムにインストール済みとして、現在検出されているアップデート ID とバージョン。

「依存パッチ」ウィンドウはシステムの場合と同じです。

ジョブページ



ジョブ

このページでは、アップデートのステータス、関連システム数、およびジョブの予定日と完了日など、各システムで待機中のジョブを確認できます。「アップデート ID」または「概要」をクリックして、依存パッチや発生した問題など、アップデートの詳細を表示できます。ジョブの詳細を表示するには、表示するジョブのチェックボックスを選択し、「選択したジョブを表示」をクリックします。

<input type="checkbox"/>	ジョブステータス	アップデート ID	概要	関連システム	時刻/日付
<input type="checkbox"/>	保留中	113513-02	X11 6.6.1: platform support for new hardware	1	15:51 2005/06/24
<input type="checkbox"/>	保留中	118050-01	Obsoleted by: 118050-03 Sun Cluster 3.1. SMFT Alliance Access patch	1	16:40 2005/06/24
<input type="checkbox"/>	保留中	118526-01	SAM-FS 4.2 Solaris 9 Patch	1	18:07 2005/06/24
<input type="checkbox"/>	保留中	118413-01	Obsoleted by: 118413-02 SunOS 5.9: Project Manager Localization message patch	2	18:07 2005/06/24
<input type="checkbox"/>	保留中	118528-01	QFS 4.2 Solaris 9 Patch	1	18:07 2005/06/24
<input type="checkbox"/>	処理中	115968-01	GNOME 2.0.2: Performance meter Patch	3	00:30 2005/06/03
<input type="checkbox"/>	処理中	117184-01	GNOME 2.0.2: GNOME panel and support libraries Patch (アップデートのアンインストール)	2	00:30 2005/06/03
<input type="checkbox"/>	保留中	115966-01	GNOME 2.0.2: Terminal emulator Patch	1	00:30 2005/06/03
<input type="checkbox"/>	処理中	113724-01	Obsoleted by: 113724-03 SE3511: StorEdge 3511 array firmware upgrade (アップデートのアンインストール)	3	00:30 2005/06/03
<input type="checkbox"/>	失敗	117400-01	SunOS 5.9: ISO6859-6 and ISO6859-8 iconv symlinks	1	01:25 2005/06/13

すべてのジョブ (10)	
失敗	1
成功	0
処理中	3
保留中	6

このページには、各システムで待機状態になっているジョブが表示されます。表示内容にはアップデートのステータス、関連するシステムの数、およびジョブが予定または完了された日付が含まれます。依存パッチや発生した問題など、アップデートの詳細を表示するには、アップデート ID または 概要 をクリックします。ジョブの詳細を表示するには、表示するジョブそれぞれのチェックボックスをオンにして、「選択したジョブを表示」をクリックします。

「ジョブ」タブをクリックすると、登録済みシステムに対して作成済みおよび待機中の現在のジョブのリストが表示されます。このウィンドウからジョブを表示して管理することができます。メインの「ジョブ」ウィンドウでは、次のジョブを実行できます。

- 現在の全ジョブのリストを表示する
- 完了したジョブのアーカイブ
- ジョブをクリックしてジョブの詳細を表示する
- チェックボックスをオンにして複数のジョブを選択し、ジョブの詳細を表示する

- 「関連システム」列の数字をクリックして、ジョブに含まれているシステムの詳細を表示する
- アップデート ID をクリックして、アップデートの README ファイルの入ったポップアップウィンドウを表示する
- データ列を基準に並び替える
- 1つまたは複数の保留中のジョブを選択し、「選択したジョブを表示」をクリックして「ジョブ詳細」ウィンドウを開き、1つまたは複数の保留中のジョブをキャンセルする

このページでは、複数のナビゲーションパスが使用できます。

■ 「選択したジョブを表示」ボタン

「ジョブ詳細」ページを開きます。このページでは、各システムで最近実行したジョブのステータスを表示したり、ジョブが失敗した原因に関する情報を見たりすることができます。ジョブが成功または失敗したら、ジョブのアーカイブを選択し、履歴に保存してこの表示から削除することができます。保留中または処理中のジョブをアーカイブすることはできません。アーカイブされたジョブを表示するには、アーカイブ済みジョブのリストを表示します。

■ 「選択したジョブをアーカイブ」ボタン

「アーカイブ済みジョブの詳細」ウィンドウを開きます。選択した各ジョブが、各関連システムに対するジョブのジョブ ID 見出しとステータスのグループ形式で一覧表示されます。

- 完了したジョブのみをアーカイブすることができます。
- 完了したジョブは、失敗または成功ステータスのジョブです。

■ 「ジョブステータス」リンク

「ジョブ詳細」ページを開きます。このページでは、各システムで最近実行したジョブのステータスを表示したり、ジョブが失敗した原因に関する情報を見たりすることができます。

■ 「アップデート ID」リンク

アップデートの README ファイルをポップアップウィンドウで開きます。ポップアップを閉じるには「閉じる」をクリックします。

■ 「摘要」リンク

アップデートの README ファイルをポップアップウィンドウで開きます。ポップアップを閉じるには「閉じる」をクリックします。

■ 「関連システム」リンク

「ジョブ詳細」ページを開きます。このページでは、各システムで最近実行したジョブのステータスを表示したり、ジョブが失敗した原因に関する情報を見たりすることができます。

データ列

「ジョブ」ウィンドウには、次のようなものがあります。

- ジョブ
- ジョブ詳細
- アーカイブ済みジョブの詳細
- 予定されているジョブの確認

各ウィンドウではジョブ情報がさまざまな方法で表示されているので、使用可能なジョブ、有効なアップデート、および関連システムをすべて表示できます。ここでは、各ウィンドウのデータ列について、ウィンドウごとに1つの表にして説明します。

ジョブ

次の表にメインのジョブ画面の列、データの説明、列の内容からのリンク、このデータからジョブの管理に移動する方法を一覧表示します。

注 - このウィンドウのデータは、ブラウザの更新ボタンを使用して更新できます。更新または再ロードを要求するまで、セッション中のデータは変更されません。

列の見出し行に三角形のアイコンが付いている列で並べ替えることができます。データのほとんどはリンクです。

表 4-5 ジョブ(メイン)のデータ列

列	説明
チェックボックス	各アップデートには、そのアップデートを選択するためのチェックボックスが付いています。 「すべて選択」ボタンと「すべてクリア」ボタンを使用して、リスト内の全チェックボックスをオンまたはオフにすることができます。
ジョブステータス	ジョブの現在のステータス。 <ul style="list-style-type: none">• 保留中 - 関連システムの次回のチェックイン時またはシステムの再起動時に実行されるまで待機しているジョブ• 処理中 - 実行されているが、まだ完了していないジョブ• 失敗 - 完了はしたが、正常に完了しなかったジョブ• 成功 - 正常に完了したジョブ
アップデート ID	アップデートに Sun が割り当てた固有の ID。

表 4-5 ジョブ (メイン) のデータ列

列	説明
摘要	<p>アップデートを簡単に説明したテキスト識別子。</p> <p>リンク：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 摘要をクリックすると、アップデートの詳細を表示するポップアップウィンドウが開きます。 • 摘要の右側にあるアイコンは、アップデートのインストールに再起動が必要かどうか、またはインストールに手動操作が必要かどうかを示します。アップデートにアイコンが表示されていない場合、次のウィンドウで選択する各システムが次回チェックインするときに、アップデートをそのシステムにインストールすることができます。
関連システム	<p>Update Manager 分析エンジンによって、このアップデートに関連していると検出されたシステムの数。</p> <p>リンク：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 数字をクリックすると、「アップデート: 関連システム」のウィンドウが表示されます。
時刻/日付	<p>表示されているジョブが最後に処理されて、現在のステータスになった日付と時刻。</p> <p>このフィールドはリンクではありません。</p>

ジョブ詳細

次の表に「ジョブ詳細」ウィンドウの列、データの説明、列の内容からのリンク、このデータからジョブの管理に移動する方法を一覧表示します。

注 - このウィンドウのデータは、ブラウザの更新ボタンを使用して更新できます。更新または再ロードを要求するまで、セッション中のデータは変更されません。

列の見出し行に三角形のアイコンが付いている列で並べ替えることができます。データのほとんどはリンクです。

表 4-6 「ジョブ詳細」のデータ列

列	説明
チェックボックス	各アップデートには、そのアップデートを選択するためのチェックボックスが付いています。 「すべて選択」ボタンと「すべてクリア」ボタンを使用して、リスト内の全チェックボックスをオンまたはオフにすることができます。
ジョブステータス	ジョブの現在のステータス。 <ul style="list-style-type: none"> • 保留中 - 関連システムの次のチェックイン時またはシステムの再起動時に実行されるまで待機しているジョブ • 処理中 - 実行されているが、まだ完了していないジョブ • 失敗 - 完了はしたが、正常に完了しなかったジョブ • 成功 - 正常に完了したジョブ
システム名	ジョブが実行中または実行される予定のシステムの一般名。
コメント	ジョブが失敗または成功した理由を説明するテキスト。
時刻/日付	表示されているジョブが最後に処理されて、現在のステータスになった日付と時刻。 このフィールドはリンクではありません。

アーカイブ済みジョブの詳細

次の表に「アーカイブ済みジョブの詳細」ウィンドウの列、データの説明、列の内容からのリンク、このデータからジョブの管理に移動する方法を一覧表示します。

注 - このウィンドウのデータは、ブラウザの更新ボタンを使用して更新できます。更新または再ロードを要求するまで、セッション中のデータは変更されません。

列の見出し行に三角形のアイコンが付いている列で並べ替えることができます。データのほとんどはリンクです。

表 4-7 「アーカイブ済みジョブの詳細」のデータ列

列	説明
アーカイブ済みジョブのステータス	<p>アーカイブジョブの現在のステータス。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 保留中 - 関連システムの次回のチェックイン時に実行されるまで待機しているジョブ • 処理中 - 実行されているが、まだ完了していないジョブ • 失敗 - 完了はしたが、正常に完了しなかったジョブ • 成功 - 正常に完了したジョブ
システム名	ジョブが実行中または実行される予定のシステムの一般名。
コメント	アーカイブジョブが失敗または成功した理由を説明するテキスト。
時刻/日付	表示されているジョブが最後に処理されて、現在のステータスになった日付と時刻。 このフィールドはリンクではありません。

索引

- B
- Bourne シェル ix
- C
- C シェル ix
- D
- docs.sun.com viii
- H
- halt コマンド 24
- I
- init 24
- K
- Korn シェル ix
- R
- README 25, 45, 51
- S
- Solaris アップデート 1
- Solaris のコア機能 25
- Sun Alert/Recommended アップデート 3
- Sun Update Connection プロキシ 23, 24
- Sun Update Manager 2
- U
- uadmin コマンド 24
- あ
- アーカイブ 4
- アーカイブされていないジョブ 26
- アーカイブ済み 26, 29
- アカウントの作成 11
- アクティブ 34
- アクティブなジョブ 26
- アクティブなジョブの合計数 34
- アップデート 3, 37
 - 関連システム 49
- アップデートの合計数 33
- アップデートページ 3, 24
- アップデートを適用 24, 27, 46
- アラートアイコン 33
- い
- 依存パッチ 24, 25, 49
- 依存パッチと確認 46
- インストール済みアップデートを表示 20
- か
- 概要 37, 45
- 概要ページ 2
- 完了 29, 34
- 完了したジョブ 26
- 完了したジョブの合計数 34
- 関連システムを表示 28, 45
- き
- 技術サポート x
- 機能のアップデート 3
- け
- 契約番号 12
- こ
- 更新 26, 29
- さ
- 再ロード 26, 29
- サブスクリプション 12
- サブスクリプションキー 12, 15
- サンオンラインアカウント 2, 13, 16, 18

し

システム詳細 23, 36
システム設定 20
システム設定を編集 19, 20, 21, 39
システムの一般名 19
システムの合計数 33
システムの再起動 24
システムページ 3, 35
システム名 20, 36
システム名の変更 20
システム - 有効なアップデート 37
システムを削除 19, 21
失敗 26, 29, 30, 34
重要ではないアップデート 3
詳細を表示 39
ジョブ 1, 3, 37, 45
ジョブ詳細 26, 30
ジョブステータス 30, 36, 37
「ジョブ」タブ 50
ジョブのアーカイブ 50
ジョブの概要 37
ジョブの作成 23, 24, 27
ジョブページ 4, 26, 29, 30
処理中 25, 29, 34
す
すべてのジョブ 26
すべてのジョブを表示 20
すべてを参照 3, 33, 34
すべてを表示 37
せ
成功 26, 29, 34
セキュリティアップデート 3
選択したアップデートをアンインストール 25
選択したジョブをキャンセル 30, 36
そ
ソフトウェアサポート 12
た
待機状態のジョブ 24, 27
ち
チェックイン 24
チェックイン間隔 2, 19, 20
チェックインするシステム 19
て
摘要 48
電子メールアドレス 16

と

登録 15
登録ウィザード 1, 15
ね
ネットワークプロキシ 16
は
パスワード 16
ふ
ファームウェアプロンプト 24
フィルタ 26, 29, 33
「フィルタ」メニュー 26
ブラウザ 16
ほ
ポート設定 16
保留中 25, 29, 34
み
未チェックイン 32
も
戻る 39
ゆ
有効なアップデート 23
有効なアップデートを表示 20, 27, 36, 39
ユーザー名 11, 16
り
リアルタイムでの変更 23
リストに戻る 36
リモート管理 13
利用規約 11
リリース日 48
履歴 19
履歴アイコン 19
履歴データ 20, 21